

2014年1月10日  
株式会社 日建設計  
東京都千代田区飯田橋 2-18-3

## 日建設計シンガポール支店が業務開始 ASEANにおける日建グループの戦略的新拠点

株式会社日建設計（代表取締役社長 岡本慶一）は、ASEANにおける新拠点としてシンガポール支店を開設し、2014年1月6日より業務を開始いたしました。

この拠点は、日建グループにおいて、東アジアをカバーする上海オフィス、中東・CISをカバーするドバイオフィスに次ぐ、ASEAN全域をカバーする戦略的拠点となります。

具体的には、すでにASEAN地域に設けている各拠点（日建設計：ハノイ・ホーチミン、日建設計シビル：ハノイ・ホーチミン・ジャカルタ・ピエンチャン）とのネットワークの中核拠点としてシンガポール支店を位置づけ、ASEAN全域及び香港を含めて、業容の拡大、クライアントへのさらなるサービス向上に努めてまいります。

### ■ 日建設計シンガポール支店の概要

**名称：** 日建設計シンガポール支店（英文：Nikken Sekkei Ltd Singapore Branch）

**所在地：** #25-12 Level 25, One Raffles Quay North Tower, Raffles Place, Singapore 048583  
（シンガポールの都心部に位置します）

**支店長：** 取締役常務執行役員 浜田明彦（兼任）

**電話番号：** + 65-6622-5330

**FAX番号：** + 65-6622-5999

**業務開始日：** 2014年1月6日（事務所登記完了：2013年10月18日）



日建設計シンガポール支店が入居する One Raffles Quay North Tower（ワン・ラッフルズ・キー・ノースタワー）

---

## ■ 開設の背景

- ・ASEAN は今後の都市開発・不動産投資の成長が大きく見込まれる地域です。世界全体の建設投資額においてアジアが占める割合は、2005年では31%だったものが、2020年には約46%に増加すると予測されています。また、今後予測される経済成長率、人口の伸び率、一人当たりのGDP等の観点からもマーケットの拡大が見込まれています。
- ・日系企業によるASEANでの積極的な不動産投資も加速しており、今まで日建グループがASEAN他で培ったノウハウをこうした日系企業に提供し、お役に立ちたいと考えています。
- ・ASEANに拠点を設けるにあたり複数の候補地から検討を行いましたが、投資家が集中しASEANでの案件情報が集約することをはじめ、ビジネス環境、空路アクセス等の観点から、シンガポールに支店を開設することといたしました。

## ■ 今後の展開

- ・コアコンピタンスとして主に下記の分野を中心に、業容の拡大を図ってまいります。
  1. 低炭素都市・スマートシティ・省エネルギー建築
  2. TOD (Transit Oriented Development：鉄道・都市一体開発) / 大規模複合施設
  3. 一般建築・病院・スポーツ施設・高齢福祉施設
  4. 日本企業の海外進出支援
  5. マネジメント業務
  6. 耐震・免震などの構造技術
- ・上記中のTODについては、去る2013年11月19日に在インドネシア日本大使館公邸にて開催された「Smart TOD Forum in Jakarta/ASEAN」(主催：在インドネシア日本大使館、スマートシティ企画株式会社アセアン分科会〈代表：中村光男/日建設計会長〉)においても、アジアの高密度都市環境における都市問題を解決し、スマートシティ化を推進する手法として、行政・プライベートセクターから大きな関心が寄せられました。こうしたイベントを通じて、各分野の日本企業とも連携しながらASEANでの都市づくりに貢献していきたいと考えています。
- ・日建グループがすでにASEAN地域に設けている各拠点と連携し、シンガポールのみならずASEAN全域をカバーする、日建グループの戦略的拠点として活動を行ってまいります。

以 上

---